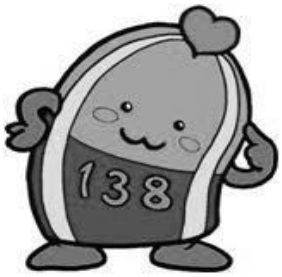
# 一宮の城について調べるには？




一宮市にはかつて多数の城が存在していました。
現在は石碑、遺構などが残っています。
ここでは、一宮市に存在していた城について調べるために参考になる資料について紹介します。

黒田城跡（一宮市指定史跡）
一宮市観光協会発行パンフレット
『一宮市木曽川町出身の戦国武将　山内一豊』より

## 関連する人物について調べる

**『一宮市史　下巻』**
一宮市役所/編纂　国書刊行会　1990 年
7 階郷土資料コーナー　A273 / 117 / 2

**『いちのみやの戦国武将と史跡』**
一宮市博物館/編集　2006 年
7 階郷土資料コーナー　A273 / イ

**『浅野公園　開園１００周年』**
浅野史蹟顕彰会　2017 年
7 階郷土資料コーナー　A273 / アサ

**『三英傑とともに歩んだ浅野長政』**
一宮市博物館/編　2016 年
7 階郷土資料コーナー　A289 / サン

**『関氏と一宮城』**
松本勝二/著　カツジ社　1976 年
7 階郷土資料コーナー　A288 / 15

**『尾張の豪族中島氏と中島城』**
魚住東洋/著者　1963 年
7 階郷土資料コーナー　A288 / 41

**『坪内氏と高野島城』**
吉川茂/著　1996 年
7 階郷土資料コーナー　A273 / 136

●五色の蛇●　～苅安賀城にまつわる伝説～

苅安賀城を浅井田宮丸が城主として治めていた頃、城には五人の美しい姫がおり、「苅安賀城の五人小町姫」と呼ばれていた。豊臣秀吉の謀略により田宮丸が殺され、苅安賀城も攻め落とされてしまうと、五人の姫は次々と自ら命を絶った。

その後、苅安賀城の周りで五色の蛇を見かけるようになり、五人の姫が蛇となって城を守っているのではないかとうわさされるようになった。

参考文献
『史録いちのみや』松本勝二/著．郷土出版社．1986 年．A273 / 96
『一宮の民話　第四集』郷土の民話同好会/著．2002 年．A388 / 92 / 4

インターネット、データベースもご活用ください。
7 階インターネットスペースではデータベースを利用して、新聞記事や国立国会図書館のデジタル資料が検索できます。
ここで紹介した資料がすべてではありません。
郷土に関する質問は 7 階カウンターでおたずねください。

**一宮市立中央図書館**
〒491-0858　　一宮市栄 3 丁目 1 番 2 号
尾張一宮駅前ビル（愛称：*i*- ビル）5～7 階
TEL：0586-72-2343　　FAX：0586-23-2136

## 概要を調べる

**『愛知県中世城館跡調査報告　1』**

愛知県教育委員会/編集　1991 年

7 階郷土資料コーナー　A522 / 49

**『尾張の城址を訪ねる　上巻』**

尾張城址散策の会　2006 年

7 階郷土資料コーナー　A240 / オ / 1

**『尾張の古城』**

笹山忠/著　2008 年

7 階郷土資料コーナー　A521 / サ

**『一宮市戦国武将マップ　第２版』**

一宮市観光協会/編

7 階郷土資料コーナー　A299 / 255 / 2

**『一宮郷土読本』**

大伴英邦/編　一宮市教育委員会　1956 年

7 階郷土資料コーナー　A273 / 13

**『訪ねてみませんか一宮の史跡』**

田中豊/著　2001 年

7 階郷土資料コーナー　A273 / 179

●一宮城●

城主は関氏。享禄（1528～32）の頃、関康正・長重父子が真清田神社の神官となり、神領を守るために一宮城を築いたとされる。天正 19（1591）年廃城。

その後、尾張藩の年貢米の蔵として維新まで使われたという。現在は、一宮市本町の三菱ＵＦＪ銀行一宮支店前に「一宮城跡」の碑を残すのみである。

参考文献
『尾張の古城』笹山忠/著．2008 年．A521 / サ
『新編一宮市史　本文編上』一宮市．1977 年．A273 / 19 / 17
『尾張の城址を訪ねる　上巻』尾張城址散策の会．2006 年．A240 / オ / 1

## 詳しく調べる

**『新編一宮市史　本文編上』**

一宮市　1977 年

7 階郷土資料コーナー　A273 / 19 / 17

**『一宮市史　全』**

飯田吉之助/著　一の宮新聞社　1924 年

7 階郷土資料コーナー　A273 / 16 / 1

**『一宮市史　西成編』**

一宮市教育委員会/著　1953 年

7 階郷土資料コーナー　A273 / 14 / 4

**『一宮市萩原町史』**

萩原町史編纂委員会/編集　1969 年

7 階郷土資料コーナー　A273 / 28

**『一宮市今伊勢町史』**

今伊勢町史編さん委員会/編集　1971 年

7 階郷土資料コーナー　A273 / 32

**『千秋村史』**

千秋村史編纂委員会/編輯　1956 年

7 階郷土資料コーナー　A273 / 6

**『丹陽村誌』**

真下定市/著者　丹陽村　出版年不明

7 階郷土資料コーナー　A273 / 24

**『丹陽町史誌』**

丹陽町史誌編集委員会/編集

一宮市社会福祉協議会丹陽支会　2000 年

7 階郷土資料コーナー　A273 / 176

**『尾西市史　通史編下巻』**

尾西市史編さん委員会/編集　尾西市役所

1998 年　7 階郷土資料コーナー　A273 / 78 / 9-2

**『木曽川町史』**

木曽川町史編集委員会/編集　1981 年

7 階郷土資料コーナー　A272 / 9

**『一宮の歴史』**

一宮の歴史研究グループ/編集　1994 年

7 階郷土資料コーナー　A273 / 48 / 94

**『史録いちのみや』**

松本勝二/著　郷土出版社　1986 年

7 階郷土資料コーナー　A273 / 96

**『いちのみやし大和町の史録』**

田中三郎/編著　2013 年

7 階郷土資料コーナー　A273.1 / イチ

**『赤見村今昔』**

浅井哲夫/著　浅井八寿夫/著　2019 年

7 階郷土資料コーナー　A273.1 / アサ

**『三井重吉城とゆかりの人々』**

佐藤克明/共著者　近藤晃/共著者　三井堂

1980 年　7 階郷土資料コーナー　A273 / 62

**『尾州三井重吉城古図』**

名古屋市（謄写）　1961 年

5 階閉架　A522 / 9

**『尾張志　下　復刻』**

深田正韶/撰　愛知県郷土資料刊行会　1979 年

7 階郷土資料コーナー　A240 / オワ / 2